

きっず通信 12月号

発行
平成30年11月

やっと秋が来たと思えば、風がだんだんと冷たくなり肌寒い季節となりました。

寒さに負けず元気に外で遊んだり、赤く染まった紅葉やどんぐり、落ち葉などを集めたりと、季節の変わり目を楽しんでいる子どもたちです。寒さが厳しくなる一方ですが、たくさん遊びたくさん食べて寒さに負けない体を一緒に作っていきましょう(^)!



今月の活動報告

みなでご飯と材料を混ぜてお焼きせんべいを作りました。友だちと役割や順番を話し合っ進めていき、材料を入れたり混ぜたりこねたり・・・とても頑張っ作っていました!「いいにおいがする〜」「おいしい〜!」と自分で作ったお焼きせんべいを、おいしそうに食べていました!役割を自分たちで決めたり、自分の気持ちを伝えたりするのがだんだんと上手になってきていますね(^)♪

めやすばこ TOPICS



前回は引き続き、今回も“待つ”ことについてお話したいと思います。友達との関わりの中で、物の貸し借りをする場面はたくさんあります。とても大切なことですよ。物の貸し借りが出来るようになるには、“待つ”という力が必要です。今回は物の貸し借りを通して、“待つ”ことについて触れたいと思います。

相手に物を借りる時には、「貸して」と伝えます。相手が「良いよ」と言ったり、物を差し出してくれたりすると、借りることが出来ます。このやりとりの難しさの背景として、①「貸して」という言葉で表現するかどうか分からない、②「貸して」と発信することが難しい、③「貸して」と言わずに欲しい物を手にする、④「貸して」と言うが相手の返事を待たずに物を取ってしまう等が考えられます。③④は、“待つ”力が大きく関わっています。貸し借りは、相手がいって成立することですので、一方的な関わりで終わるのではなく、相手を意識して相手を見て待つことが出来るよう、活動の中で伝えています。伝え方としては、支援者同士のモデルを見せる、イラストで知らせる等です。そして、まずは先生と1対1で物の貸し借りをする経験を積んだ後、友達とのやりとりに応用できるようにしています。短い説明となっしまい、申し訳ありません。詳しく聞かれない方は職員までお気軽にお声掛け下さい。